

令和3年度 公共事業再評価

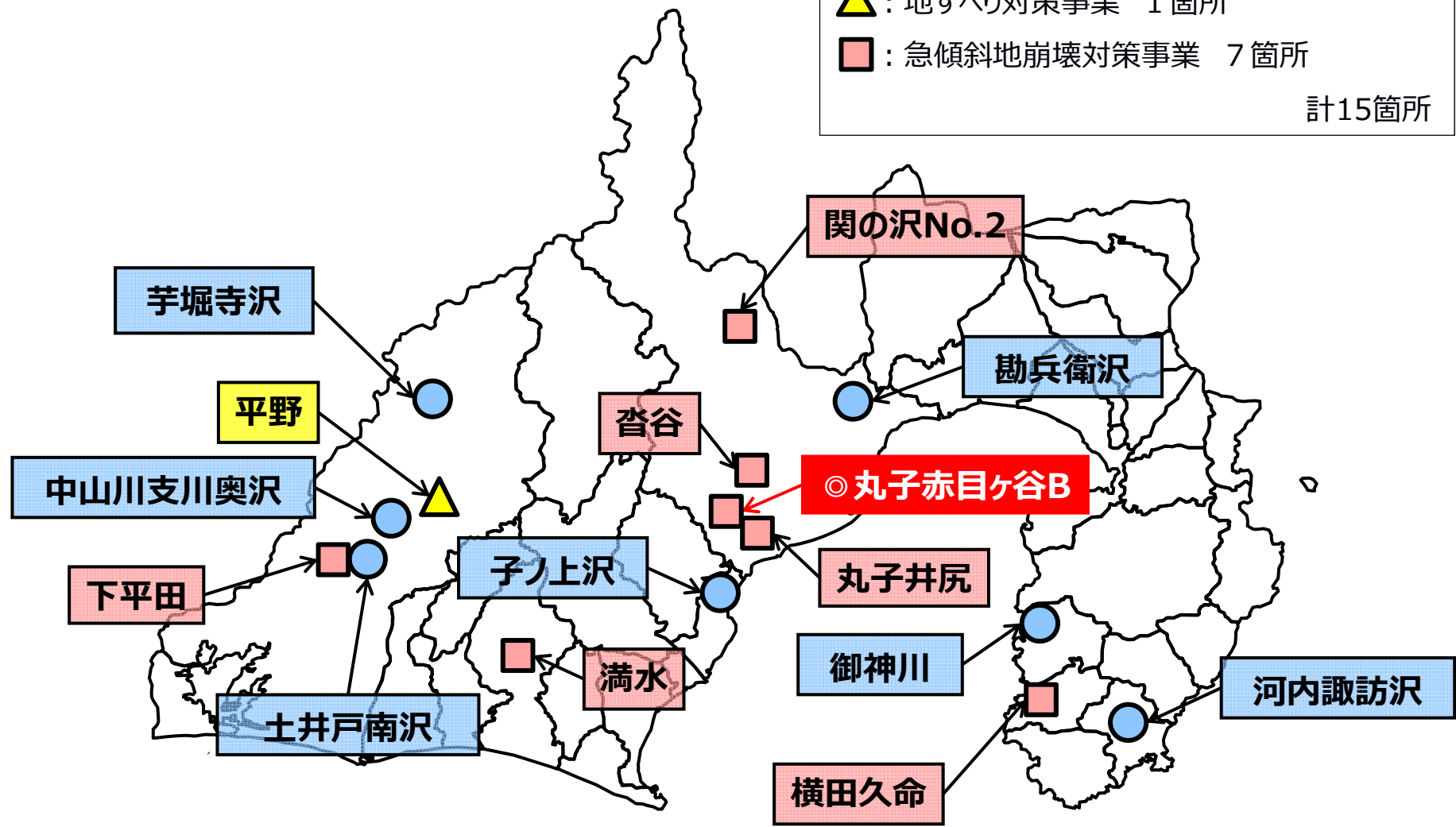
砂防・地すべり・急傾斜事業：15事業

番号	事業名	箇所名	代表説明事業
5	通常砂防事業	こうちすわざわ 河内諏訪沢	
6	通常砂防事業	おんかみがわ 御神川	
7	通常砂防事業	かんべいさわ 勘兵衛沢	
8	通常砂防事業	ねのかみざわ 子ノ上沢	
9	通常砂防事業	いもほりてらさわ 芋堀寺沢	
10	通常砂防事業	どいどみなみさわ 土井戸南沢	
11	通常砂防事業	なかやまがわしせんおくさわ 中山川支川奥沢	
12	地すべり対策事業	たいらの 平野	
13	急傾斜地崩壊対策事業	よこたきゆうめい 横田久命	
14	急傾斜地崩壊対策事業	せきのさわNo.2 関の沢No.2	
15	急傾斜地崩壊対策事業	くつのや 沓谷	
16	急傾斜地崩壊対策事業	まりこいじり 丸子井尻	
17	急傾斜地崩壊対策事業	まりこあかめがやB 丸子赤目ヶ谷B	○
18	急傾斜地崩壊対策事業	たまり 満水	
19	急傾斜地崩壊対策事業	しもひらた 下平田	

交通基盤部 河川砂防局 砂防課

事業箇所位置図

- : 通常砂防事業 7箇所
 - △ : 地すべり対策事業 1箇所
 - : 急傾斜地崩壊対策事業 7箇所
- 計15箇所



交通基盤部 河川砂防局 砂防課

急傾斜地崩壊対策事業概要

<急傾斜地の定義>

「急傾斜地」：傾斜度が30度以上である土地
(急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律)

急傾斜地崩壊防止工事

斜面改良型

【目的】

崩壊が発生しないように斜面を改良する

【主な工種】

法枠工、アンカー工、切土工、植生工 など

待受型

【目的】

崩壊が発生しても、土砂が人家に及ばないようにする

【主な工種】

待受式コンクリート擁壁工 (重力式、もたれ式 など)

その他

【主な工種】

・落石対策工、・仮設防護柵工 など

斜面改良型



待受型



丸子赤目ヶ谷Bで主に採用

位置図



丸子赤目ヶ谷Bの事業概要

事業名 : 丸子赤目ヶ谷B急傾斜地崩壊対策事業

事業期間 : 平成24年度～令和7年度

全体事業費 : 546百万円

全体延長 : 延長620.9m

事業内容 : 重力式擁壁工 延長269.1m

もたれ式擁壁工 延長283.5m

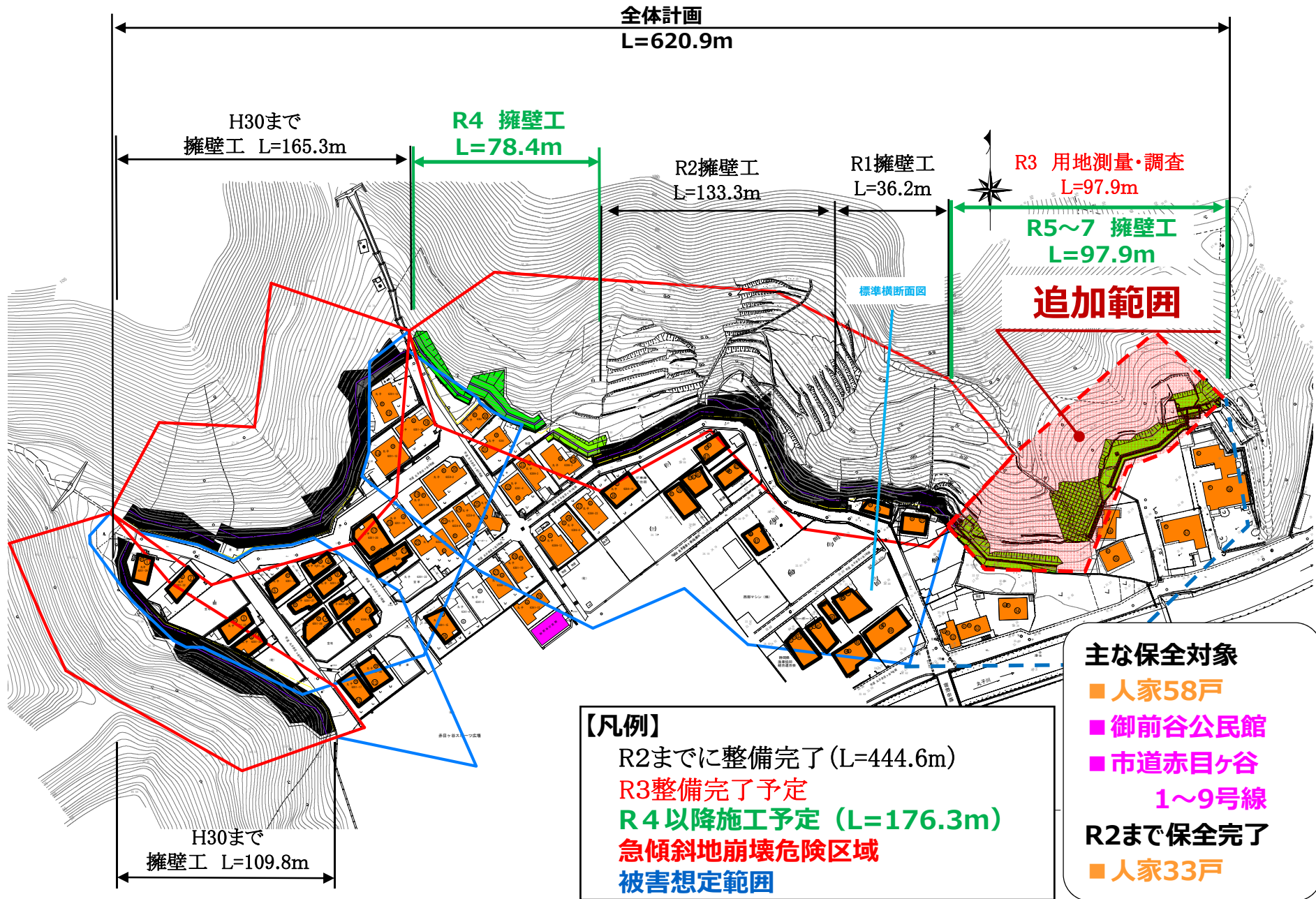
張コンクリート工 延長68.3m

保全対象 : 人家58戸

御前谷公民館

市道赤目ヶ谷1～9号線

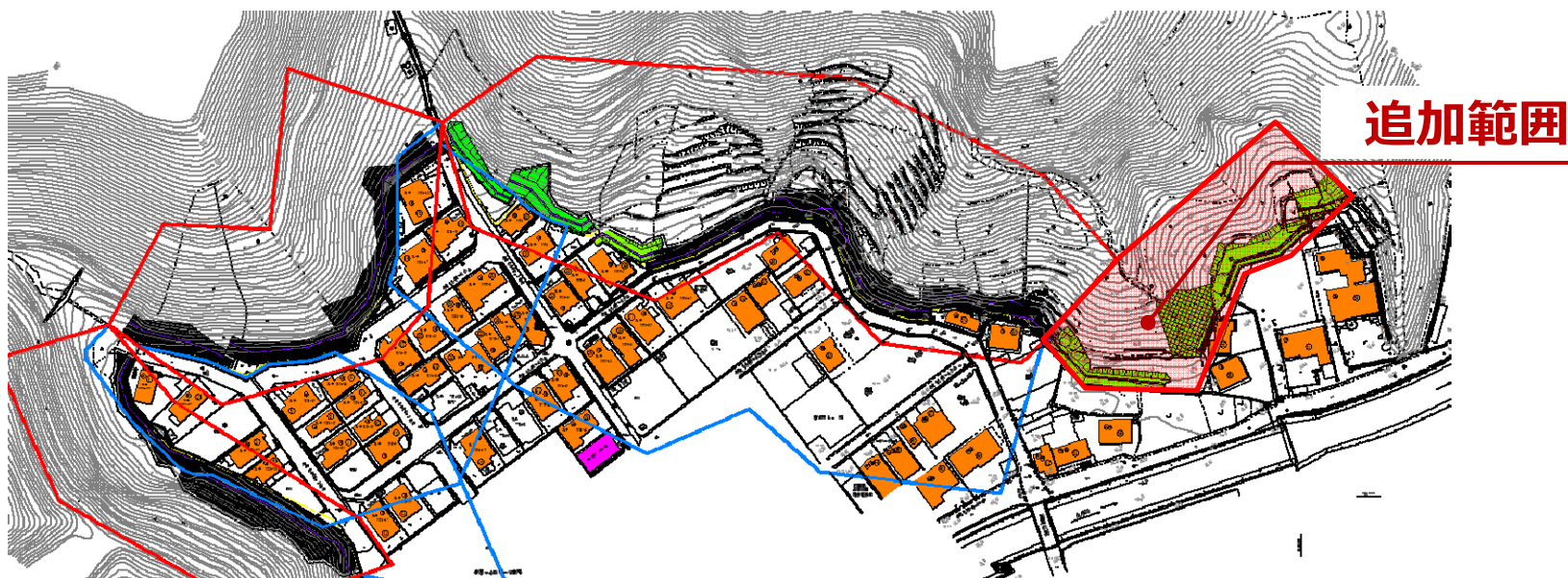
丸子赤目ヶ谷Bの事業概要



事業概要

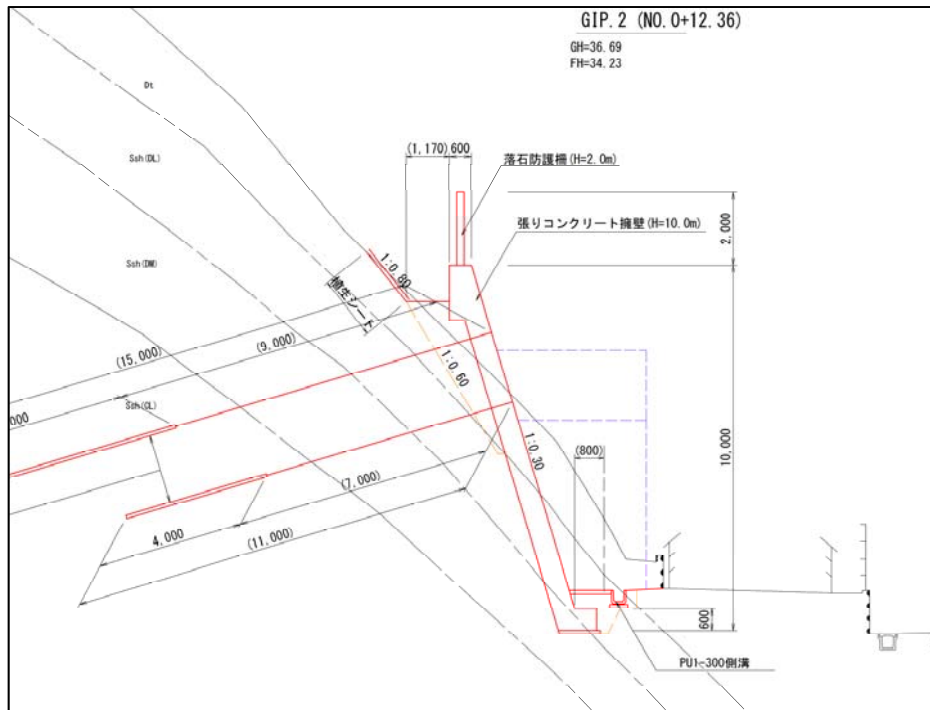
前回からの変更点・理由

	前回(H28)	今回(R3)	主な変更理由
①計画期間	H24～R3	H24～R7 (+4年)	・地元調整が整い事業範囲を追加した結果、事業期間を延伸した
②全体事業費	400百万円	546百万円 (+146)	・地元調整が整い事業範囲を追加した結果、事業費が増大した



丸子赤目ヶ谷Bの事業概要

標準横断面図



張コンクリート工

整備済箇所



事業の必要性

丸子赤目ヶ谷B空中写真



斜面が人家に近接しており、降雨時には湧水も認められる

斜面上の崩壊跡地



昭和57~58年ごろに発生した崩壊跡

事業の投資効果

事業の投資効果（費用対効果の検証）

総便益（B）

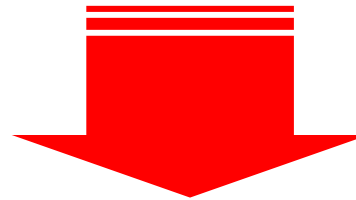
総便益 56.02億円

- 直接被害
 - ・家屋被害、道路被害、人的被害
- 間接被害
 - ・精神的被害

総費用（C）

総費用 5.87億円

- ・建設費
- ・維持管理費



費用対効果(B/C):9.5 経済的内部収益率(EIRR):47.1%

前回の費用対効果(B/C):5.7

急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル（案）R3.1改定に伴い、砂防事業や地すべり対策と同様に、精神的損害額を計上したことにより増加

今後の事業の進捗の見込み

事業に対する地元からの要望は強く、用地取得や借地などの地元調整は円滑に行われており、今後も事業が順調に進捗する見込みである。

降雨時に斜面が気になりますか？

どちらかといえば気にならない 2%
気にならない 4%

どちらかといえば
気になる 36%

気になる
57%

今後も急傾斜地崩壊対策事業の必要性を感じますか？

未回答 9%
分からない 4%

どちらかといえば
感じる 34%

非常に
感じる
53%

※構成比の数値は四捨五入しているため、100%とならない場合がある

新たなコスト縮減・代替案立案等の可能性

- 擁壁は、崩壊の要因と形態を想定し、経済性等を比較検討
- 現場発生土は、近隣の工事箇所と調整し、運搬費や処分費の低減

◎ 本事業は

- 急傾斜地の崩壊による被害を未然に防止するものである。
- 費用対効果も見込まれ、安全・安心な生活基盤に大きく寄与する。
- 地元からの強い要望があり、全面的な協力も得られている。



事業を継続する。